

プロレタリアの利益や幸福の夢を追及することに急にして、マルクス主義を奉じ、或はソヴェエト・ロシアを真似または其傀儡師となりて、無謀・醜惡なる踊等に魅せられて、斯くも有りがたき神や國體の存在をさへ忘却するところの所謂共產主義者或は不逞の徒こそは、神國日本を害する、憎みても尙餘りある徒輩なりと云ふべきなれ。

余は茲に、名實共に二大新聞の一たる東京日々今年七月九日の社説を拔萃、記録して——現代特權階級の代言、或は自稱輿論機關とやらの言として——後世に於ける吾等の後裔者達へのステキなる贈物とせんとするなり。

「共產主義者の思想轉向。——若き學徒等への教訓——共產主義運動の罪を以て司直の手にその處罰を待つてゐる佐野、鍋山兩人の心境の轉化が公にされてから、最近三田村その他二人のこれに類似した聲明書が發表され、今また河上博士の「共產主義者としての資格を自ら抛棄せねばならぬ」ことを記せる一文が世に出た。これ等の人々のいふところは、必ずしも同じではないが、いづれも共產主義の實行を目

指し、ソヴェエト・ロシアにおけるコンミンターンの指令を受けて、我國にも、ロシアに起つたと同じような變革を起さうとする企圖の誤謬を認め、或は國家意識を高調し、或は合法なる労働運動を主張してゐる點において相共通してゐる。即ちかれ等の建前を一言にしていへば、非合法運動は不可である。コンミンターンの敗戦主義は非國家的である、といふことに歸著する。これはまことに當然の事でかれ等がそれを今日心付いたことを我等は寧ろ不思議とする。けれども遅れたりといへども、過まつて改むることに躊躇しない其純情は認めなければならぬ。

——かくの如く個々の場合は同じでないが、しかも彼等が牢獄内の人となり、自由を奪はれると同時に、靜思反省の時を與へられたことが、かれ等の心境にこの變化を與へた直接のそして大きな原因であることは否まれぬ。この點において、われ等は國家の加ふる制裁が、瀧川教授のいふ「教刑主義」の効果を萬全に擧げたことを深く喜ばなければならぬ。これを以ても、われ等は共產主義運動といふが如き小

兒病患者に對しては、嚴罰主義を以て臨み、かれ等に、國家の有難きこと、自由の高價なることにつき、十分に靜思の時間を與ふることを賢明の策と信ずるものである。

われ等はかくの如き犯罪者の心境の轉化を見るにつけても、若き學生等が共產主義運動にまき込まれて、一生を誤るその暗愚さを憫まずにはゐられないのである。わが國に於ける共產主義運動は明かに國法の違反である。國法を犯すものは、國家の制裁を受ける。しかして共產主義のわが國に許すべからざることは、わが社會通念である。かゝる事情の下に、法に觸れて處罰を受くるも、何人もこれに同情しないのである。若き學徒中にかゝる運動に投ずるものゝ目標とするところは何か。わが國の國體と、社會機構は、かゝる社會通念に背ける主義の實行に伴ふ破壊的行爲によつて動搖を受くべく、餘りにも強靱である。

かれ等と雖、かれ等の運動が「社會變革」などいふ大それた事を成し得るとは思

はないであらう。然りとすれば、かれ等の運動は、火を弄ぶ危険な遊戯に過ぎないのである。しかもかれ等の殆ど全部が、この運動を職業とし、この運動を種に生計の資を得てゐる者に傾使されてゐると思へば、ます／＼「赤い學生」に對して不憫を感じなければならぬ。

労働運動もさうであるが、ソヴェイト・ロシアの他國赤化の運動も、自國本位から割出されたものに過ぎない。見よ、日本の労働者を窮地に陥らしめんとする言動は常に外國の労働者によつてなされてゐるではないか。國家主義的行動は絶えずソヴェイト・ロシアの共產黨によつて取られてゐるではないか。かゝる現實の前に國家解體を説くかれ等の宣傳に應じて踊るものは、かれらの奸計に乗せられてゐるに外ならない。金を得て踊つてゐるものは、慾のためであるから、惡は惡でもその動機を解することが出来るが、これ等の惡徒に動かされて、國家の存在と逆行する主義に誤られ、その結果、國法に觸れ、社會的に排斥せられ、一生を泥土に委する青

年學徒に至つては、餘りにも氣の毒な境涯といはねばならぬ。われ等はかゝる若者を何とかして救つてやりたい。けれども、それがためには、一方に國法に觸るゝものに對しては、嚴に法を執行する建前を取らなければならぬと同時に、他方には、かれ等の「試み」が到底螳螂の斧であつて、傷つくものは獨りかれ等自身である愚を教ふることの必要を痛感するものである。被投獄者の轉向は即ちこゝに心眼の開けたものに違ひない。われ等はこの事實が、世間を知らない若い學徒等に對して、思想的遊戯の危険と、その暗愚を教ふる資料となることを切望する。」以上。

眞の高度文化への過渡期にある——戦争誘發に甚だ有效なる——墮落せる所謂現代の資本主義を、解剖し或は警告するためのマルクス主義や理論ならば多少肯定すべき點あるも、若し、所謂共產主義を以て人類文化の理想とするものあらば、之れ即ち人類文化の古代への逆轉にして、甚しき錯誤なりと云はざるべからざるなりとす。さて、

右の新聞紙の云ふが如く共產主義者が小兒病患者ならば、それを嗤ふ者は老人病患者か、ソツイエト恐怖症患者か、或は封建時代思想亡者たるべし。後者は老耄や錯覺又は認識不足の極、唯徒らに大學や、研究の自由、言論の自由等を極端に壓迫するのみなるを以て、却て小兒病患者を増加しました夫れらの好奇心をも益々徵發する所以なり。火遊びの危険に心配するは此老人連にして、純眞なる小兒共は、ワイ／＼さはがれ、ば却てよけいに、珍奇な遊びにとかく夢中になりたがるものなり。かゝる頑是なき若人達を導くに嚴罰や牢獄を以てするに非ざれば他に方法なしとする非道・無能の老人病患者、封建時代思想亡者共こそ不敏且つ不憫なれ。如何に嚴罰主義を以てするとも、濱の眞砂子の盡きざるが如く、娑婆の荒浪が續くかぎり、所謂小兒病患者は盡きざるべし。實に爆發の危険ある釜をセッセと炊きつゝある阿呆は、抑々何者ぞ！

ハーゲンベツクのサーカス團長によれば猛獸でさへかくの如くに訓練するを得べきに、況んや頭腦明哲、眞摯にして學究慾旺盛なる所謂小兒病患者をや。また所謂社會

通念は、老人病患者や封建時代思想亡者共と、小兒病患者との、かゝる非道・悲惨なる遊戯などにはさまで興味を有するものにあらずして、唯暮しよき社會、住みよき國家たらんことを願望するのみ。

「今より六十餘年の昔、マルクスは夙に勞働階級に對して、資本が未拂勞働から生ずる事を説いてゐる——堺利彦氏著「唯物史觀の立場から」

マルクス主義者や共產主義者等は右の通り主張するなるべく、夫れに反して資本家は「資本は初め乃公によりて提供されたるものなり」と頑張りてゆづらざるべし。これ從來の資本主義對共產主義の最も重大なる論争點なるが如しと雖、百年河清を待つが如き迂濶にして、國家や社會の恩惠と云ふ重大事項を忘却せる或は識らざる半可通共の偏理屈たる屁理屈たるのみ。「人ある故に國家あり」と云ふ時代は既にすぎ去りて、今や、「國家ある故に國民や事業あり」と云ふ時代たるなり。資本及び資本の利益||所謂勞働の餘剩價格とを、國家の管理にするか、或は從來の如く資本家を番人とし

て委託さすか、何れが得策なるかを判斷するは至難なる問題にして——徒らに模倣性や人真似に墮せずして——眞の國情を基調として慎重に研究せざるべからざるなり。現在の如き資本主義制を此まゝ繼續するとも、資本家達の取得する眞の利益や幸福の多寡は知れて居るを以て、共產主義者やプロレタリア達が、ヒステリックにやかましく嫉妬や猜疑する程のこともなからん、況んや、人の幸福の價値は資産や金錢を以て左右する能はざるものなるに於てをや。

敷島の大和心を人間はゞ

朝日に匂ふ山櫻花

天皇や國の爲には死を鴻毛の輕きとし、義は山岳の重きに置き、從容莞爾として身心を犠牲にする美風こそ世界に冠たる大和魂たるなれ。

「働かざるものは食ふべからず」をモットーとして、特權階級やブルジョア達は自漫・高慢・奢侈・横着、などの弊風を悉皆放擲し、プロレタリアは不平・不満・猜疑

心などのケチなる心の一切を水に流して、上下共同一致することによつて、今日の非常時を美事に突破して、神國日本の隆昌や、其眞の文化や學術の建設に、一生懸命に奮闘努力すべき秋なりとす。

また我等の皇國はマルクス主義や共產主義や其理論などの脅威・恟懼を感ずるが如き、貧弱なる國・國體には斷然あらざることを何人も牢記して、研究や言論の自由を開放するの對策を講ずることこそ賢明なりと云ふべけれ。我國現時の學者や司政者共が無學・不見識にして、唯徒らにマルクス學說や、共產主義の理論などに脅威・強迫されるのみなる醜態は笑止を越えて寧ろ不憫なりと云ふべし。先年物故せし我國屈指の所謂經濟學者が、世界的マルクス學者を以て自他共に許し、躬らも甚だ得意然たりしが如きは、恰も「ブツソライ」の昔物語も憶ひ出されて學者の無智や無學の標本とも觀るべく甚だ面白からずや。「トンポツリ涯てはどこまで行くのやら」いつの時代でも子供や學者は「要警戒人」たらんか。さて、

また年號・教育・學校・言語・文字・制度・政治・衣食住・風習……等に關して、理想或は信念は須らく高遠に保持して、一切の見榮坊とムダを亡くして、簡易化するをつとむる等、眞に住みよき社會、暮しよくて且つ樂しき國家の建設に精進せざるべからざるなり。これらの問題については他日更めて論ずるところあらんとす。

(三) 廿世紀の先進文化國と眞似を嗤ふ

彼等は地球開闢以來未曾有の悲惨なる大戦争を突發せしめ、自慢の科學や技術の粹と、富とを以て、なし得る最大限の大慘虐を敢てし、莫大數や額の人命や物資を犠牲に供したる、無上の光榮を有するものなり。實に後世の史家は彼等を金髮白面の鬼畜群として驚歎して措かざるべし。亦彼等の信仰し、矜恃する所謂全智全能とやらの神の御子も、彼等の鬼畜道には施すに術なくして全然拱手傍觀の態度に出ることを餘儀なくせしめられしにや。それとも、どうせ鬼畜共によりて祀つられる神だけありて、假面をかひる慘忍其ものなる魔神にして、かの大戦争も結極は、人類や物資の莫大數

量を一舉に間引くの一大痛快事として、莞爾たりしにや。

かゝる魔神の宗教を無上に有りがたがりて心から歸依する偽文化或は偽善追従病患者の多數が、神國日本中にも存在するは慨歎の至りならずや。聖書や口や態度に人間道を説くとも、國家として彼等のなす暴慢・非道の餓鬼道は如何？ かゝる利己主義・偽善主義・非仁道の徒輩に狂かされて、舶來モノ崇拜の魔術より醒め得ざる者共こそは甚だ憫むべきなれ。

數百年前キリストタンバテレンを警戒せし吾等の祖先は眞に聰明なりしかな。警戒すべきはマルクスや共産主義のみならずして、否むしる斯のキリストタンバテレンの説く所謂人道主義、所謂紳士道、所謂宗教なりと云ふべし。實に、多くの場合敵は遠くにあらずして、却て側近に存在するものなるを。せめてそれらの學校なりと〇〇するは急務ならずや。かゝることをさへ氣付かずして、昨今やかましいところの日本精神振興の方法果して何づこにやある。自由々々と自由をはきちがひたるデダラクは、何事

についても最も警戒すべき點なりとす。

余は今や彼等の鬼畜道に就いて左に多少、記さんとす。

(一) 昔海賊・強盜・詐欺などの非道によりて獲得されし土地も、今や所謂紳士國たる彼等の正當にして榮光ある領土として永久に領有されんとするものなり。

夫れに引きかへ、鬼畜の襲來の危険に對して國運を賭して正當防衛の手段に出で、其賠償としての既得權も、同じ白鬼共の三國干涉となりて、勇敢ではあるが、恬淡なる君子國人は夫れを一時放棄するの止むなきに到りしを——。然し邪は正に、武士は鬼畜に勝つべきは天理なりとす。

(二) 一度彼等の領土或は支配するところとならば、他の國家や民族が如何に大なる迷惑・悲惨などを蒙る場合ありとも、彼等は平然として齒牙にもかけず、其非人道的慘忍ぶりは恰も、畜生が獲物を死守するが如し。然して他の者が沒義道に似たることをする場合もあらんかと虎視眈々たり。萬一それに類似の所爲ありと睨んだが最期、

或はよきコジツケを發見するやいなや、彼等は所謂正義・仁道の大旗を翳して、本來の野獸性を發揮して挑みかゝらんとするなり。是れ彼等の説く仁道・紳士道・正義・宗教、などにして、彼等の素性や本性のお里も知れて愉快ならずや。

本年七月九日の東京日日紙上に

「北濠洲日本讓渡。(ロンドン七日發電通) 濠洲の一部位日本に讓つてやるのが眞に日本を理解する大英國民の襟度だと演説して、濠洲はじめ英國各方面にセンセーションを起したカンタベリー僧正ジョンソン博士は七日喧しい物議に對して左の如く言明し重ねて主張を明かにした。「濠洲の一部を日本へ讓るといふことを洒落や冗談ととられては迷惑である。私は極めて眞面目に實際さうでなければならぬと思つて主張したのである。北濠洲の廣大な地域が殆んど植民されず人跡を絶つてゐる、これは氣候が白人に適しないためである。もし然りとすれば日本が植民をなすために土地を獲得すべき焦眉の急に迫られてゐる時に當り、われ／＼が廣大な濠洲の一

地域を空虚のまゝで置くと云ふことは天意にもとるものではないか。勿論私は日本へたゞで土地をくれてやらうと云つたことはない、然し恐らくわれ／＼は取引をすることが出来るだらう、私は私の主張に誤ありとは信じない」

と、有つたが、かゝる仁者が彼等のうちに有らうとは實に不思議なる程なり。現に所謂當代隨一の紳士國〇〇が、ワシントン會議以後、昔の日〇同盟のよしみを弊履の如く抛つて、却つて日本を敵としてエジメつけんとすることの數々及びよろづに狡猾・專恣なる非人道・非紳士的行動、極端なる利己主義と甚しき偽善行爲、などの様々を觀ても、彼等の眞面目を喝破し得べきに、かゝるものゝ崇拜者や憧憬者が我國の所謂識者や智識階級中に多數存在して且つノサバルとは！

(三) 彼等は殊勝氣に人道主義や紳士道を唱道するも其實、暴慢にして奢侈・貪吝にして非道なる國家資本主義者氣質にして、屬領や未開化人等からの飽なき搾取者にして、其爲には如何なる非道・慘虐・戰爭をも敢て辭せざるなり。然して彼等のみが優

等なる文化人にして、すべてに大なる特權あるものと強く獨斷或は錯覺して、異色人種は劣等人種として甚しく輕蔑して人間扱さへせず、否な彼等に忠實なる奴隸化せんとさへしつゝある程なり。かゝる徒輩から黄色人種禍を高唱されることあるは、正に抱復絶倒の至りなりと云ふべし。盜人たけぐしい、とは抑々何人の謂ひぞや？。地球人の大部分が、白鬼禍のために、筆紙につくせぬ大なる苦惱を強要されつゝあるものを！

(四) 彼等の高慢なる科學や文化は、彼等の國家や資本家共の黄金や富を増殖さす爲に、人類を無用に便利に、奢侈に、懦弱不健康に、輕佻浮薄に、生活難に、或は險惡なる世相や慘虐なる戰爭……に陥しいれる等、却て人類を不幸・不安に、または人類社會に多くの禍を醸したること、恰かも斯の神話や昔話にあるが如き、大惡魔の仕業にさも似たる結果を招來したるなり。

然れども彼等は、それを燦然たる廿世紀文化なり、と自慢するなり。かゝる惡魔や

鬼畜にも似たる我利々々亡者共によつて提唱される、平和機關や軍縮、經濟の會議などが悉皆失敗に終りしは寧ろ當然たる所以なり。

彼等は眞の人類文化の妨礙者或は異端者にして、彼等の究極の願望や至寶とするものは、飢餓のため將に頻死の状態にあるときさへも人間の吾人には絶對口にする能はざる黄金であり。また、寒さの爲將に凍死せんとする節でさへ人間たる吾人には少しも着或は役立たざる富や權益なり、など思はゞ、道に惡魔の大叡智の程も想ひやられて甚面白からずや。

(四) 眞の高度文化

熱氣學や無有哲學の進歩發達した眞の高度文化の世界には左の如き理由によりて、黄金や富の必要も少く、生活難もなく、また戰爭の必要も起らざるべし。國際會議としても從來の如き國際聯盟、平和裁判、九ヶ國條約、軍縮會議、經濟會議、など一切不要にして、その代り産兒制限會議、陸地や物資の分配會議、學術又は技術或は藝術

會議、スポーツ會合、などが必要とせられるに到らんか。

(一) 現今の科學や工業でさへ寶石製造可能なることが、既に新聞によりて報導されたる程にて、況して將來は黄金、寶石を首じめとして凡ゆる必要なる物資が、容易に製造可能となるべき筈なり。

(二) 着物の例を生絲に採れば、

(イ) 生絲の神祕は蠶にあり、然れども、蠶の卵種が粟粒しかない點より觀れば、神祕は寧ろ其成育の主要物たる桑の葉と空氣とに存在せざるべからざるなり。

(ロ) 然し、桑の實の種子も、同じく粟粒しかなき點を再考すれば、生絲の神祕は、桑の苗を育成する土壤・肥料・水・空氣に存在せざるべからざるなり。

(ハ) 眞空氣や空氣は $-H \parallel$ エーテル原子と窒素が主として、 $+H \parallel$ 燃熱子と酸素が從として存在し、土壤中には $+H \parallel$ 燃熱子が主にして、 $-H \parallel$ エーテル原子が從として存在し、又水は前者に、肥料は後者の割合に相似するものと觀て差支なき理なり。

故に生絲の神祕は、究極は $-H \parallel$ エーテル原子（窒素や水素）と、 $+H \parallel$ 燃熱子（電氣・

酸素・炭素など）との、配合・交合によりて解決さるべきものなり。換言すれば人造絹絲は土壤（及び電氣）と空氣（及び水素）等とを巧みに化學工業することによつて製造可能なるべきなり。木綿絲の神祕も同理によりて容易に解決可能なるべし。

土壤・空氣・水、などによつて、桑や蠶を創造することは勿論絶對不可能の筈なるも、人絹や人綿ならば製造可能ならざるべからざるなり。現に現代科學と工業でさへ、松よりバルブを製造し、更に人絹を創造しつゝあるものを――。

桑や蠶を、生絲を製造する神祕なる一種の機械と觀れば如何？ 原料は唯土壤と空氣と太陽（電氣）とにすぎざる理ならんを――。

(三) 榮養の例を血液に採れば、血液の神祕は、

(イ) 消化機能（附飲料水）

(ロ) 食物たる植物（及肉類）

通俗無有哲學——無有致

中にあらざるべからざるなり。

前者は余の説の如く、消化液は肺（及び皮膚）より吸入せる $-H$ 窒素や $+H$ 酸素、及び飲料水中の兩原子（即熱子）によるものなることを、第一に闡明すべきなり。

後者の植物の神祕は、其種子が成育する土壤（及び肥料）空氣・水・日光（電氣代用）などのうちにあるべきなり。

既に説述せし如く、結極は、榮養或は血液の神祕は $-H$ エーテル原子と、 $+H$ 燃熱子の配合や交合にあるべきなり。

かくの如く解剖研究することによつて、眞の人工榮養物質も創造するを得べし。

現代榮養學のビタミン説の根據を知らざれども——植物に兩熱子や其の變化物たる窒素・水素・酸素・炭素（及び電氣）などを作用させて——植物中より血液類似の赤き汁を精製、或は抽出すること可能なる程度に醫化學が進歩・發達するに非ざれば、榮養學としての眞價値は尠き理なることを説述して此項を終るなり。

靈質交合性原理宣言書

廿世紀の科學と哲學よ！

廿世紀の人類よ！

地球を廻はし

幽靈を顯はし

太陽に人類が住む

と云ふ、大狂者現はれたらば、あなたは、何んと呼ばんとするか？

あなたが持つ、神 佛 聖 賢 哲 人の名を假りて、彼を呼ぶの、非禮を敢てせんとするか？

自然の子、屑屋極道が、凡人なるの故を以て、彼が説かんとする
創生の神の心を

天然 自然 を

冒瀆するの錯覺や

邪神を祀り或は創める、認識不足を繰返へしつゝ、

永遠に 迷夢を續けんとするか？

阿呆となり 無心となりて

天然 自然 を

觀察せよ 感謝せよ 信念せよ

常識人よ 我れを煩はして 我れの道樂を ジャマするの 非常識をする勿れ

妻よ 我れを 常に氣狂 阿呆視した御身は、今日の我れをドウ觀るか？

悟つたならば 嫉妬心を去りて 夫の眞心を、眞の愛を知れ

母よ 迷妄より醒めて 我れの許に歸れ

地球の大狂者

無有教者
性感學者

屑 屋 極 道

を産みし 隱岐島と 育くみし 大満寺山よ

皇統連綿たる

大日本帝國皇室 國家 國民 大和民族 よ

廿世紀の

地球の各 民族と 國家よ

地球 と 地球の人類 よ

天 地 人 間に 永遠に 光榮あれ

皇紀二五九二年

西曆一九三二・一・二三、於鴻基

通俗無有哲學—無有教

三井物産株式會社
 ○○○○○○○○
 汽船 天城山丸 船長
 ○○○○○○○○

屑屋極道

四〇

(第一版より抜萃、轉載)

氣狂になるとされるとされるの別れ途
 道故に迷ふ我れなるかも。
 出る釘は打たるゝものと知りながら
 釘ならばこそ出るもするらめ。

(一九三二、八、一二、於熱帶)

靈質交合性原理發表漫談

地球開闢以來廿世紀迄の科學に對する吊鐘は、今や將に鳴らされんとす。然して此
 光榮ある撞手は抑も何人ぞ？

相對性原理の創唱者アインシュタイン博士其人なりとす。(一九三二・四・二、横濱より駿河
 灣航海中、天城山丸海圖室、船長ベッドに於て、石原純博士著「エーテルと相對性原理の話」(前夜讀了)、同「ア
 インシュタイン相對性理論」半讀の朝、記す。)

廿世紀科學の二大魔と地球大狂者の仕合

光熱作用には

- (一) 空中に於ける光熱・灼熱・燃燒作用。
- (二) 眞空に於ける光熱・灼熱(電球等の)作用。――の二種ありと余は謂はんとす。

通俗無有哲學||無有教

真空中には何ものが存在するならんか？

- (一) エーテルの存在は肯定さるゝならん。
 (二) 物體の重量 \parallel 重力作用ある故、地球引力も亦存在すと理屈するを得べけん。
 故に現代科學にて、常に重大問題視されつゝも、然も其正體を暴露し得ざる、科學の二大魔が真空中に存在すとは、實に驚歎すべき自然の皮肉——天然の神秘なりと云ふべし。

余今年一月廿三日熱氣學を創案して、以て此二大魔に、物質としての宣告を下さんとす。

此二大魔と地球大狂者との取組は、將來又は後世に於て、學界及び社會を沸騰さすだけの甚大なるセンセーションを惹起する時機が必然到來すべきことを確信して豫言するものなり。

熱氣學にては、

-H \parallel エーテル原子 \parallel 冷熱子、

+H \parallel 引力原子 \parallel 燃熱子、

-Hが+Hに交合する作用を熱氣作用と謂ふ。輻射・燃焼・光熱・灼熱・爆發・物體組成・影像・音・匂・光線・電氣・重力・天體蒼生及び運行自轉、等は皆此熱氣作用の一部なりとす。

換言すれば、引力原子即ち地球引力エネルギーは燃焼・光熱・灼熱、等するものなりと、余は敢て云はんとす。

+H \parallel 引力原子 \parallel 燃熱子。

大なる眞腔球の中で、他の眞腔球を迅速に、強力なるダイナモを以て、長時間廻轉したらんには、如何なる現象を來すならんか？

余は當然、引力を發生すべきやに想ひ、是を+H \parallel 引力原子 \parallel 燃熱子と云はんとす。これこそは、引力・電磁氣、等の凡べてのエネルギーの正體なるべし。

更に此眞腔球に、地球自轉の速度と、地球創生以來の無限長期間相當の廻轉を與ふれば、地球引力原子 \parallel 地球燃熱子を得るなるべし。同理により、太陽や月の引力原子 \parallel 燃熱子を得ることも可能ならんか。

(嗚呼！ 余に金を與へよ。然らば宣傳用ポスターを得る爲に、此下手な、論文ならぬ草文や、或は原稿稼ぎの爲のギョチない文筆を抛棄して、亦船頭稼業から足を洗ひ、^{+H} \parallel 引力原子 \parallel 燃熱子即ち天體及び萬物組成原子の大魔法瓶を製造し、以て木・金・土・水……凡ゆるものを創造する大魔術を世界に行ふて、地球大狂者としての眞面目を發揮し、亦靈質交合性原理の眞價の實驗もせんものを！)

萬有引力を肯定する現代科學は、何故光線のみを除外例として、引力との關係に想に到せざるや？ 大氣や水中にては光線は屈折すと謂ふ。抑々屈折とは何ごとぞ？ 地球引力に作用さるゝと云ふ即ち重量ある、大氣や水を組成する元素・分子・原子、等が地球引力に作用さるゝは寧ろ當然なるべし。長さ硝子匣に海水を充滿し、匣底に平行

に光線を通じたりとせんか、然して其一部に鹽を投じて密度を甚だ濃厚ならしめば、該光線は屈折又は灣曲するなるべし。何故ぞ？。是れ光線が地球引力に依り灣曲亦は屈折する所以ならずや。現代科學の常識を捨て、瞑想する人は、此奇矯の言を肯定するに到るべし。

彼の有名なるマイケルソン及びモーレー兩氏が「地上に於てもエーテルは流れてゐるもの」と錯覺し、光線・エーテル光波・引力、等に就いて認識不足をなしたる想像は恕すべき點ありとするも、彼等が若し「光線も亦地球引力の影響を受くるやも知れず！」と云ふ一大疑問を發し、其地球引力に最も近似性たる磁氣を、彼等の「光の干涉」の實驗の際に、其光線に試みて、感應の有無を試験したりしならんには、——其後に到り、奇術とも謂ふべき、ローレンツ收縮や、時間と空間との相對性に就いてのミンコフスキーの四次元の双曲線的空間 \parallel 物理學世界の想案や、アインシュタイン博士の相對性原理、等への躍進脱線も無かりしものを！。此れ等は抑も廿世紀の科學の魔

術にあらずして何ぞや。

科學は其魔法に魅せらるゝ前に、何故水星からの光線は、太陽の引力に作用するかも知れず？ 太陽にも亦空氣類似の、否却て密度大なる大氣存在するかも知らず？ 等云ふ疑問を發せざるや。

亦何故、科學は、凡ての天體中地球のみを特種部落することを、廿世紀の今日まで、未だに止めざるや？。亦何故エーテルの存在をも否定せんとするか？。空中で棒を強振すれば音を發す、是れ空氣の抵抗ある爲なりと謂ふ。然るに何故、高速自轉する地球表面上に遊動する空氣が、靜止するや？ 音を發せざるや？ 亦太陽光線は本來の熱線なりと謂ふ。然して地球上に熱帶・寒帶、等あるは、太陽光線の直射角・距離、等の關係に據ると云ふ。然し太陽の視半徑、即ち太陽の半徑と地球の一點に畫く直角三角形の銳角は極めて僅少なる只の〇度十六分餘にすぎざるならずや。太陽の直徑は地球直徑の百九倍半餘、距離は地球直徑の約一萬八百倍餘ありと謂ふが、夫れを用器

畫圖にして觀る人あらば、忽にして現代科學や常識に就いての不合理なる點を發見するなるべし。實に太陽が所謂灼熱球なりせば、飛行家やヒマラヤ登山家達は防寒服の代りに防暑服や装置を用意すべく、亦地球は萬年常夏の樂園か或は炎熱地獄なるべきことに想ひ到らざるべからざるなり。

月には氷山・雪野等存在し、太陽光線が夫れらに反射して斯の朗明なる月光となると謂ふ。然らば反對に、月より地球の晝間（太陽の光線が直射する）を觀た場合を想像すれば、如何？ 少數の人は、月より暗黒なりと云ふ、寧ろ正直なる答ならんか。然し、多數の人は、月がかく觀ゆる以上、地球も勿論朗明なるべしと云ふ。

若し太陽光線が、現代科學や常識の謂ふが如き熱線ならば、地球の表面全體を、銀のエナメルを以て塗粧するとも、惧らく、月光の如き、かゝる透明或は明朗なる照光を得ること絶對不可能なる所以を思ひ付くを得べきに。

若し電氣を知らざる野蠻人に、白熱せる電燈を見せたる場合を想像すれば如何？

彼等は、他に熱源體があり、夫れよりパイプにて電燈に誘導して照明するものならん等と想像するなるべし。實に此愚昧・暗蒙を嘲笑するならん、現代科學や常識は如何？

太陽を灼熱球とし、太陽光線を本來の熱線なりとし、或は地球を光源體ならずとする等、亦其の他幾多の誤謬・無智・矛盾、を敢てして、地球開闢以來の甚しき迷妄を未だに繼續しつゝある現狀にあらざや。實に目糞が、鼻糞を嗤ふの愚を敢てしつゝ、何ら反省するところなきは抑々何モノゾ？

死後の靈魂は科學的には其存在を否定するもの、如し、然れども古來、幽靈・人魂、等の存在を實證なすものある事實は如何？ 亦現代科學には不可解なる現象・事實・等無數あるにあらざや。潔よく兜を脱いで、正直素直になつて、神祕大明神でも祀ることを敢てしては如何？ あゝ、賽の河原に嬉戲するは、抑も何人ぞ！

余十六歳頃禪に興味を持ち人生を大海と觀じ、己れをコンパス・帆・櫓・權・舵、もな

き捨小舟に譬ひて漂舟と呼びし時代もありしが、其後海に志して船頭となり、遂に賽の河原の人々に宿縁を持つに到るとは！、實に因縁の奇しきなるかな。

一枚の白紙の表面のみに夢中になるのが從來の宗教であり、其裏面のみを説明して表面あるを否定せんとするが、科學や哲學なるが如し。仍て余は、熱氣學を以て科學や哲學の爲には白紙の表面を、無有哲學を以て宗教の爲には白紙の裏面を、説明せんことを期す。元來同じ白紙の表裏に過ぎざるを以て、或場合には勿論從來の學說と大同小異なるは是非もなし。

先進文明國の學說のみに憧憬して、模倣時代の域を未だに脱し得ず、舶來モノを妄信・讚美する錯覺時代に――

皇統連綿たる神國日本に、然も、其歴史上に深き因縁を持つ隱岐島に生まれ、亦、中興明治の成果を納むる爲に、國家並びに國民が一大自覺・發奮したる年に當りて――廿世紀を期して、科學や哲學、常識の一大轉換をなさしむる爲の榮光ある旗手とし

て、余躬ら今や將に名乗りを揚げんとして、實に感慨無量なる次第なり。嗚呼。

四一

眞理姫小唄

眞理々々と憧れるくせに

浮氣な方には實がない

實があつても度胸がなけりや

カネのワラジは履けはせぬ。

妾しや手近かにかくれちやいても

氣取つた方には目もくれぬ

たとひ阿呆か船頭だとても

男と見込めば惚れもする。

シカメ面した先生様は

妾の畑で子をつくり

正直者の屑屋さん

妾の藏からヌストする。

男伊達なりやいとやせぬ

どうせ契つた仲ぢやもの

惚れた弱味と云はばいへ

極道する程尙かはい。

(一九三二・一一・一三)

眞理姫の藏からヌスンダ實は、——月經説、女子精液説、卵巢機能説、新受胎論、性感學——色道學、靈質交合性原理……等なり。從來の哲學者や科學者等が、交合性原理の實行者にして子孫を創造するに堪能なるに反して、我輩は其原理の創案者たり。

余、今日の哲學・科學・人類、に借問せん「抑々、眞理トハ何ゾヤ!!!」
開關以來廿世紀の今日まで、全人類に始終一貫して考へられた智慧の結晶・結論が、
果して眞理なるや!?!」と。

四二 遺傳學と榮養學に就いて

此頃袖ヶ濱に相撲見物に行つたが、本職と素人とは體格がまるつきり相違してゐるので、鍛練の力の偉大なるに驚歎させられた。古來我國に於て身心の鍛練についてやかましく高唱されたのは、さすがに卓見であることを感銘する次第である。

本年七月號の主婦の友に「肺病を征服して、日本一の力持ちになつた健康法」として怪力平井氏の體質改造法の記事がある。

【肺を病み、死をさへ豫想した病弱の青年が、闘病と鍛練に、涙ぐましい六ヶ年の努力空しからず、今や日本代表重量競技選手として、米國の晴れの舞臺に登場しよ

うとしてゐる、驚異的事實があります。卅一人スシ詰め自動車を口で引張る怪力の氏(三三三)とは、どういふ方でせうか。中略

——徵兵検査の不合格から憂うつになり、故郷を去つて大阪に出たところ、生來虚弱な體質は、何を試みても人並の仕事ができず、母の情でブラ／＼するうち、誂へ向に結核菌の洗禮を受け、醫者から肺尖加答兒、右肺浸潤との診断を受けました。そして、毎日午後四時頃になると、必ず三十七度六分から八分の微熱が出て、食慾はなく、衰弱は加るばかり、某病院へ通院する傍ら、賣藥などを試みても捗しくないので、友人の勧めに従ひ、新保温泉に轉地療養をすることになりました。

時に平井氏は廿八歳、體重僅かに十二貫三百匁、徵兵検査のときに比べて、一貫三百匁の減少です。新保温泉は冷泉ですが、呼吸器病患者にはよいと見え、三ヶ月の滞在中に約七百匁を取り返し、この分なら全快の日も遠くないと思はれたが、醫師から安靜を命じられて温泉宿でボンヤリ日を送る退屈さに飽き／＼し、幼少の頃

から母堂の感化で、弘法大師に對する信仰が、病を機會に勃然と擡頭して、高野山の山を憧れ、高野山に近き山間に轉地療養をつゞけられたのでした。

そして廿九歳の初夏、五月十二日に庚申山の通夜堂に移り、療病から一步を進めて鍛鍊生活に入り、昨年九月十六日まで、弘法信仰を根柢とした肉體改造の大願に猛進されたのでした。愈々通夜堂に入るといふ前、母堂にも兄弟にも別れの手紙を出して、「私は單に病氣を癒すだけでは満足出來ない。精神的にも、肉體的にも、人に誇り得られる確信のつくまでは、斷じて下山はしない。そして世の中との交渉を一切絶つて、たゞ一念靈肉の改造更生に突進する。」といふ意味のことを言ひ送り、その日から山の住人としての鍛鍊生活が始められたのです。

朝は四時半に起床、夜は九時半就寝、食物は一切の肉食を斷ち、朝は味噌汁に漬物、晝は野菜の煮た物、夕はお汁と漬物、間食は木の實類といへども嚴禁、どんなに喉の渇くときでも、水一滴、三度の食事以外には飲まぬといふ堅い決心をされま

した。

轉地以來、醫藥その他あらゆる療法から離れて、たゞ大地の恵みに生きようとす
る自然生活のお蔭で、病氣は日に快方に向い、庚申堂へ入つた頃は、醫者には診て
貰はないが、肺の方はほゞ固定してきたらしいとのこと。それでも初めから無理な
運動は決してせずに、大師を念ずる一方、九度山や、高野の麓を散歩の場所として、
疲れない程度に、極めて徐々と、運動の分量を増していつたのでした。歩くといふ
ことは、運動中一番有效であるといふことも、この間の體驗で。入山一年半目には
體重十八貫を越え、二年目には廿貫を突破するといふ豪勢さ。この頃から高野山上
へ往復八里の山坂を、初めは隔日に、半年後には毎日、疲勞と速度を調節しながら
徒歩運動を雨の日も風の日も続け、しかも一方には腕の力、肩の力を練るために、
五貫、十貫、十五貫と、徐々重量を増しつゝ、力量の伸展を圖り、遂に今日二百卅
貫を肩に擔ぎ、或は四十八貫の鐵啞鈴を樂々と差し上げて、まだその上に大の男を

二人も載せるといふやうな、超怪力が出るやうになつたのだといふことであります。話の間に取り出された麻繩一本、これを胸に三巻きして、グット胸を開くと、三本の麻繩が絲よりもたやすく、ブツツリ切れました。平井氏の胸圍は、開いたときと狭めたときとの差が、八インチもあると申します。

また金火箸ほどの七寸釘二本を、指と掌で鉛のやうにへシ曲げて、蝶のやうに結んでしまふ。更に驚くべきは、幅一寸二分、厚さ三分、長さ五尺の鐵板を右手で左手にグル／＼巻きに巻きつけて、太息一つつかない強健さは、全く人間業と思へぬほどであります。

六年前に十二貫三百匁しかなかつた男、しかも絶對安靜を強ひられた病弱の身體が、醫者から離れ、滋養物から離れ、一日四合五勺の麥飯と、野菜だけで、こんなに素晴らしい體格の改造ができるとしたら、世の中の病弱者は、大いにその療病法を考へねばなるまい。平井氏「酒や煙草は、勿論です(飲まない)。砂糖は殊に有害で、

砂糖を食つてゐては骨格は丈夫になりません。骨組が丈夫にならないで、どうして身體全體を強健にすることができませう。(六年間の山の生活中何が一番有效でした?)。裸體で歩くことです。夏は水泳もやりました——水は飲みません。喉が渴けば、喉だけは潤はして吐き出します。さうしないと、汗が出すぎて疲勞を早めます。力業以外の運動としては、起床したらずぐ、東天に向つて兩手を高く差し伸べて、深呼吸をします。そして腹の底から聲を出して、肺と聲帯の運動を、日課の初めに行ひます。それから力業を試みる前に、全身の筋肉を慣らすために、首・腕・腰・足などの捻轉伸長の運動を行ひます。呼吸運動は十分間ほど、力業まで合して一時間あまり行ふだけです——。運動のコツとしては、腹に力を入れないことで、私は力業をするときでも、決して腹に力を入れてをりません。腹に力を入れると横隔膜が胃を壓迫して、胃を悪くします。】

氏に失禮でありお氣の毒であるが、今假りに、氏を遺傳學の實驗のための種取男と

して観察するとせば如何？。廿八歳と卅三歳とでは氏の體格・體質・健康・榮養、など雲泥の差あるが如く、廿八歳と卅三歳のときに受胎せしめた兒の間には勿論それに相應するだけの霄壤の相違があるべきことには何人も異議は有るまいと想ふ。然し現代の進化論者や遺傳學者が、それについて如何なる愚見を有するだらうか。果してこれを問題にする程の腦力があるかどうか疑はざるを得ない點もある。

彼等の平常の實驗のやりぐちを仄聞するところによれば、恰も十五・六歳の氏に花嫁を持たせて、監禁して強制的に種取事業に虐使するが如き状態に彷彿たるではなからうか。

そして得た第二世の兒にも、配偶者を配して同一場所に閉ぢ込めて滋養分を與へなとして居れば、早く相互に色氣も出ること故、臆て十五・六歳になれば、氏の第三世が得られやう。そして此學者共は氏の眞の第三世だと主張するであらう。

然し、氏が今から結婚して、普通一般の風習に従つて得られる眞實の第三世と、さ

つきの三世とでは、其差異は甚しきものがあるに相違ない。現代の遺傳學説にはかかる缺點のあるべきことも一般人は承知しておいて損はない。不自然に則する、或は天然自然を無視する進化論は進禍論にして、遺傳學は異傳學に墮するは當然と云はねばならぬ。

從來我國では血統のことをやかましく云ふも、血統も決して絶對的のものでないことも承知しておくべきであらう。

過日の東日紙上に【六錢の味噌汁で、熱務する青年。——頭は明快、能率は増進、非常にいゝ氣分といふ——一日一食、しかもそれは味噌汁でわづかに六錢、それで頭は明快となり能率は増進睡眠時間短縮、一石二鳥どころか數鳥を射落すといふ奇行家？ 中山君（二四）である。同君は過去五年間味噌汁を夕食にするだけでよく役所でお茶に出すせんべい一枚も口にしない、従つて胃の消化に要する血液が頭腦

に働くから、能率が、上るのだと本人はいつてゐる、睡眠は一日五時間あれば充分なので、午前一時頃までは勉強が出来るといふ。——醫學博士佐伯矩氏談（人間が生きて行くには、どれだけの栄養をとつたらよいか、栄養學の方では基礎栄養量といふのがあつて、その量だけ毎日とつて居れば生きてゐられると云ふことになつてゐる。これを最低要求量といつて普通日本人の大人では千三百八十カロリーだ。むしろ此栄養では仕事は出来ない。呼吸作用が行はれ血液が循環して、命だけはあるといふ程度だ。ところで、中山君が毎日とつてゐる食料は、味噌百グラムと、ジャガイモの大三つ、キャベツの菜二・三枚でこのカロリーは六百九十二カロリーしかない、即ち栄養學上からいへば、それだけの量では生きることが困難である。世界大戦中ドイツでは、聯合國の食糧封鎖を受け、十五歳以上のものゝカロリーを一日一千三百八十カロリーに限定してしまつたところ死ぬものが續出した。婦人では月經がなくなつた。その人の身長・體重・年齢等いろいろのものが關係するが、一千三百八

十カロリーでさへこの通りである。そこで僕の考へるのでは、この人は恐らく毎日同じものを食つてゐるのではないか、むら食ひをしてゐるのではないか。さういふ診断を僕は下す。しかしそれが實際なら、研究所としていゝ試験材料だ。と掲載してあつた。】

栄養價値は、主として攝取するところの胃腸機能によつて定まるものと觀ても差支ない筈である。即ち玄米飯・麥飯・野菜食、などでも強健なる體質や胃腸機能によれば却て栄養價値はステキにもある。然し運動や勞働が不充分にして、或は胃腸機能の完全でない人の爲には、現代栄養學の謂ふ如く、かゝる粗食は栄養價値が甚だ少くなるらしい。

栄養は燃熱子に該當するものにして、遊働靈子の神經を通じての活動で、それを燃やす時に發生するエネルギーが人の精力或は活力となるものだ。また栄養は蠟燭のやうなものゝと觀ずることも出来る。所謂栄養價値の多いものと云はれる栄養は、恰も西

洋蠟燭を燃やすときのやうに、燃え易いばかりで耐久力が少いから、力業する者の爲には甚だ頼りなく従つて不適當と云はねばならぬ。だから粗食は硬度榮養とでも云ふべく、眞に身體の爲には役立つものであるけれども、消化機能の熾烈完全なものでなければ榮養たらしむる能はざるものである。

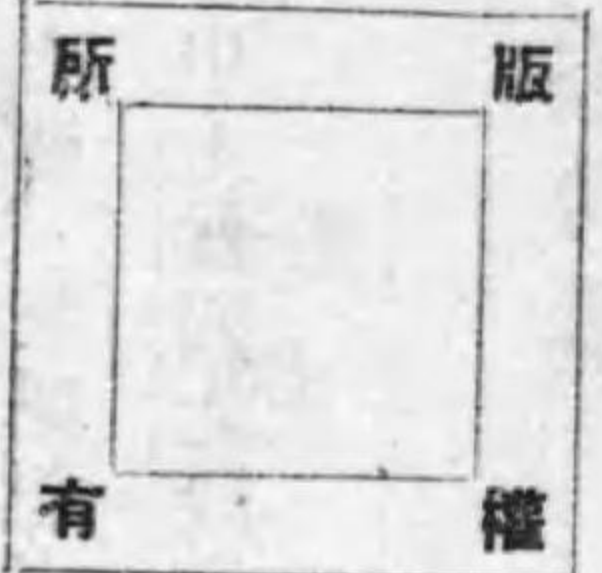
現代榮養學は、不健康者や病者などの爲には役立ち、また一般人の參考には多少なるかも知れないが、萬全のものではないことを知つておく必要がある。故に吾人は榮養學に頼らずして、胃腸機能を如何に活躍すべきかを常に考慮することの方が萬づに賢明の策であると云はねばならぬ。

榮養學が完全するときには人類は却て惰弱になるときでもあるだらう。また從來とても榮養學が、人類を徒らに養生家にしたばかりで、たいした利益しなかつた點も無數にあるやに想はれる。故に、眞の榮養學は強健術をはなれては、あり得ない理にもなる。

榮養價值充分にして美味であるべき食物にさへあき／＼しているブルジョア必ずしも健康ならず、烈しき勞働に汗水たらして粗食にさへ美味を感ぜざるプロレタリア必ずしも虚弱ならず、否、事實は正に正反對にして、前者が不健康にして且つ煩悶が多くて、後者が健康にして且つ精神的に幸福である場合が多いものであるから痛快だ。かくの如く天然・自然は公平であるが、それを氣つかずして、とかく不平・不満を抱きたがるのが人間の通有性でもあるから、全く仕末が悪るい。またいくら高度の文化だからとて、人間を惰弱の臺無しにしてしまつては何もならないことだけは考慮せねばならぬ。

昭和八年十一月五日印刷
昭和八年十一月十日發行

不許複製



通俗靈貨交合性原理

定價金參圓 (郵稅拾五錢)

(但五部以上御注文ノ節ハ郵稅不要)

著者 肩屋極道

神奈川縣小田原十字町四ノ八六三

發行者 齋藤朗

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一ノ二

印刷者 中島眞

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一ノ二

印刷所 株式會社秀英舍

發行所

神奈川縣小田原
十字町四ノ八六三

齋藤朗

振替東京四七貳九八番

〔振替以外の御注文は遺憾ながら堅く御ことはり申上候〕
〔東京・大阪・神戸・高松(三越) 京都(大丸) 名古屋(松坂屋) 福岡(玉屋) 等に委託販賣の豫定に候〕

謹告

學者以外の御方の面會一切御斷り申候

死後の靈魂論と性感學などの大成上、傳説・迷信・靈的現象など研究調査のため、行方定めぬ放浪の旅に上るべく念願致居候につき、御訪問の儀一切堅く御ことはり申上候

萬一、在宅中と雖、新聞記者、雜誌記者、諸氏を首じめとして、學者以外の御方の面會一切御斷り申上候間此段御了承相成度願上候

屑屋極道

追伸

死後の靈魂論、靈魂論、性感學などの參考資料御有りの御方は、御惠與下され度、

御厚志と御手数數奉懇願候

夫婦道の葉

(昭和九年中出版豫定)

一名 通俗性感學

創造の神が絶對公平なりせば、甚だ不合理奇怪なるは男女の性感の不一致なり。かかる疑問に發足して生まれて出たるものが、我草稿第一版前篇の「原始時代に於ける人類及び其交尾期に就いての考察」にして、それや性感學の紹介、月經説、卵巢機能説、女子精液説、などをまとめたものが本書なり。それらは我靈質交合性原理を誕生するの基因となりしものなり。性感學とは左の各項目について検討或は研究する學を云ふ。

女子

- 1 體格、臀.....
- 2 體質、健康.....
- 3 乳
- 4 性 器.....
- 5 性 慾.....
- 6 年 齡.....
- 7 還 境.....
- 8 氣 分.....
- 9 性 慾 期.....
- 10 性 技 巧.....

男子

- 11 體質、健康.....
- 12 性 器.....
- 13 性 慾.....
- 14 氣 分.....
- 15 性 技 巧.....
- 16 性交時間.....

16).....

女子性感...%

夫...の...
夫...の...

終

